

果樹・花きの害虫防除に

アディオン[®] フロアブル

広い
殺虫スペクトラム

優れた殺虫力と
速効性

優れた残効性

パ
ッ
ケ
ー
ジ
が
新
し
く
な
り
ま
し
た
!





特長

1

広い
殺虫スペクトラム

同時発生の数種害虫を併殺
できます。

2

優れた殺虫力と
速効性

接触作用により強い殺虫力を示し、
薬液が害虫にかかると、速効的に
ノックダウン効果を発揮します。

3

優れた残効性

優れた残効性により作物を
害虫から守ります。

適用作物・害虫と使用方法

農林水産省登録 第17852号 [有効成分] ペルメトリン…10.0%

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ペルメトリンを含む 農薬の総使用回数		
大粒種ぶどう	チャノキイロアザミウマ	1,000～2,000	200～700	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内		
	コガネムシ類、フタテンヒメヨコバイ	1,500			2回以内				
おうとう	オウトウハマダラミバエ、ショウジョウバエ	2,000		収穫前日まで	2回以内		2回以内		
もも	モモハモグリガ	1,500～2,000			6回以内		6回以内		
	シンクイムシ類、アブラムシ類	1,500		2回以内			2回以内		
すもも	アブラムシ類、シンクイムシ類				4回以内 〔散布は2回以内、 噴射は2回以内〕				
りんご	キンモンホソガ	1,500～2,000			収穫14日前まで		2回以内	2回以内	
	ケムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類 モモチョッキリゾウムシ、シンクイムシ類	1,500							収穫前日まで
なし	シンクイムシ類、カメムシ類				1,500～2,000				
	アブラムシ類	1,500							収穫14日前まで
くるみ	アメリカシロヒトリ、シロテングロマイコガ			1,500	収穫前日まで				
マルメロ	シンクイムシ類	2,000							収穫前日まで
ブルーベリー	オウトウショウジョウバエ		1,000～1,500	収穫7日前まで	3回以内				
かき	アザミウマ類、カメムシ類	100～500				収穫前日まで	6回以内	6回以内	
アスパラガス	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ		1,500	100～300	—				6回以内
きく、ばら カーネーション	アブラムシ類	200～700							
宿根かすみそう	アブラムシ類、ヨトウムシ								
スターチス	ヨトウムシ								
りんどう	リンドウホソハマキ、ヒラズハナアザミウマ								
トルコギキョウ	ヒラズハナアザミウマ								
つつじ類	ツツジグンバイ								

2020年1月現在の登録内容

上手な使い方

害虫の発生初期をねらいます

残効性を生かして害虫の発生初期(巻葉前、
食入前、低密度時など)の防除を行うと
より効果的です。

ローテーション散布を行います

本剤のようなピレスロイド系薬剤の過度の
連用をさけ、各地域の防除基準や防除暦
に沿って他系統殺虫剤との体系防除を
行ってください。

均一に散布します

本剤は、接触毒により効果を示しますので、
薬液のかかりにくい葉裏、下葉などにも
ムラなく散布してください。なお、食入した
幼虫には効果が劣ります。

ボルドー液との混用方法

ボルドー液と混用する場合には、直接混合
すると凝集するので、本剤の原液を予め
少量(20倍程度)の水で希釈後、ボルドー
液に加えてよく攪拌してください。

使用上の注意事項(抜粋)



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲などのないよう注意してください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払ってください。



- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかけられないようにしてください。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。



- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しないでください。
- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散・流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R1A20A06:J2

2020年1月作成(ジェイツ・コンプレックス)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP



住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

